

令和3年度の当初目標

- 地域部会（山・川・海）合同でのバスツアーを企画・開催する。
- 「マイクロプラスチック」と「ネオニコチノイド系農薬」の2テーマで勉強会を実施する。

市民部会の課題・役割

- 矢作川の望ましい姿のイメージの可視化・具体的行動
- 市民部会としての流域連携テーマの議論
- 地域部会の話題・課題を把握できるシステムの構築
- 10年間で新たに増えてきた課題や問題の明確化
- 懇談会とつながりの薄い農業や工業の団体との関係構築

山・川・海の恵みにつながる矢作川をつくる
～今新たに！「流域はひとつ」生命共同体～

矢作川の恵み・大切さを再認識し、より良い矢作川流域圏の再構築を目指し、平成30年度のWGで作成しました。

4. (3) 市民部会の活動進捗報告 | 令和3年度の活動スケジュール

市民部会の活動として、WGを3回、まとめの会を1回、公開講座を2回実施した。

活動 (参加者数)	日 時	場 所
第9回WG (16名)	6月9日 (水) 14:00-16:00	・豊田市崇化館交流館2階 大会議室
第10回WG (12名)	8月18日 (水) 13:40-15:30	・豊田市崇化館交流館4階 第2会議室
第11回WG (13名)	10月8日 (金) 14:10-15:45	・豊田市崇化館交流館2階 大会議室
第3回市民部会 まとめの会 (15名)	12月8日 (水) 14:05~15:55	・豊田市崇化館交流館2階 大会議室
第1回公開講座 「マイクロプラスチックの 環境影響」(98名)	7月31日 (土) 15:00~17:00	・ZOOMウェビナーによるオンライン ・スタジオ会場：古民家カフェ“kabo”
第2回公開講座 「ネオニコチノイド系農薬 が及ぼす環境影響」 (87名)	11月27日 (土) 15:00~17:00	・ZOOMウェビナーによるオンライン ・スタジオ会場：トンボ研究所

※参加人数はオンライン参加者、事務局含む

4. (3) 市民部会の活動進捗報告 | 令和3年度の活動成果

今年度の活動目標に対する進捗状況

<今年度に活動目標①：地域部会（山・川・海）合同でのバスツアーを企画・開催する。>

- 昨年度の計画を踏襲し、再度日程調整を行うとともに、地域部会において内容の再検討を行った。次年度、新型コロナウイルスの感染状況をふまえ、再度設定・実施する。

【名称】山から海まで2日がかりの「矢作川の全て」バスツアー

【計画日】11月25日(木)・11月26日(金)の2日間、各々日帰りとして計画

⇒**新型コロナ感染防止のため、再度延期とした**

【想定参加人数】50人程度(※参加は矢作川流域圏懇談会のメンバーに限定)

1日目 令和3年11月25日(木)

時刻	場所	詳細	担当部会
8:45集合	豊田市駅		
9:00出発	東口ロータリー集合		
	↓	移動(60分)	
10:00到着	水源涵養モニタリング調査サイト(豊田市大洞町)	水源涵養モニタリングサイトの成果報告(60分) 解説者: 蔵治光一郎様 (東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)	山部会
11:00出発	↓	移動(60分)	
12:00到着	奥矢作レクリエーションセンター(恵那市串原)	昼食・休憩(40分) ※昼食のみ体育館 奥矢作移住定住促進協議会の活動報告(40分) 解説者: 大島光利様 (奥矢作移住定住促進協議会 会長)	山部会
14:00出発	↓	つくラッセルの活動報告(40分) 解説者: 戸田友介様(株)M-easy代表取締役社長) → 時瀬地区の置土実験結果	
	↓	矢作ダムを見学しながら マイクロバスで移動(60分)	川部会
15:00到着	阿摺ダム(豊田市富田町)	阿摺水力発電所について(45分) 解説者: 北井和人様 (中部電力(株)愛知水力センター 副長)	川部会
15:45出発	↓	移動(15分)	
16:00到着	阿摺ダム下流部(豊田市富田町)	天然アユの生態調査の成果報告(60分) 解説者: 山本敬哉様 (豊田市矢作川研究所 主任研究員)	川部会
17:15出発	↓	移動(30分)	
17:45到着	豊田市駅		
18:00解散			

2日目 令和3年11月26日(金)

時刻	場所	詳細	担当部会
8:45集合	豊田市駅		
9:00出発	↓	移動(20分) 鶴の首狭窄部の事業説明	
9:20到着	明治用水頭首工(豊田市室町)	明治用水頭首工における治水・利水の問題について(30分) 解説: 落河崇征様 (豊田市河川課 副課長)	川部会
9:50出発	↓	移動(10分)	
10:00到着	安永川トンネル(豊田市今町)	安永川トンネルに関する治水の問題や魚の移動経路(30分) 解説: 落河崇征様 (豊田市河川課 副課長)	川部会
10:30出発	↓	移動(10分)	
10:40到着	家下川(豊田市樹塚東町)	家下川でのこれまでの取り組みについて(45分) 解説者: 酒井博嗣様 (豊田市文化財課)	川部会
11:25出発	↓	移動(65分) 昼食・休憩(60分)	
13:30到着	矢作川浄化センター(西尾市港町)	矢作川浄化センターの取り組みについて(60分) 解説: 青山 様 (愛知県西三河建設事務所 都市施設整備課)	海部会
14:30出発	↓	移動(30分)	
15:00到着	(仮)東幡豆海岸(西尾市東幡豆町)	(仮)三河湾の漁獲量・次世代の担い手の現状について(30分) 解説者: 石川金男様 (東幡豆漁業協同組合 組合長)	海部会
15:30出発	↓	移動(30分)	
16:00到着	西尾駅		
	↓	移動(60分)	
17:00到着	豊田市駅		
17:10解散			

4.(3) 市民部会の活動進捗報告 | 令和3年度の活動成果

今年度の活動目標に対する進捗状況

＜今年度に検討した目標②：「マイクロプラスチック」「ネオニコチノイド系農薬」の2つのテーマで公開講座を実施する＞

○ 計画どおり、2つのテーマの公開講座を実施した。

～①マイクロプラスチックが及ぼす環境影響～

実施時期：令和3年7月31日（土）15:00～17:00
 講師：四日市大学環境情報学部 教授 千葉 賢氏
 参加者：98名（ZOOM参加者77名、会場参加者21名）

～②ネオニコチノイド系農薬が及ぼす環境影響～

実施時期：令和3年11月27日（土）15:00～17:00
 講師：神奈川県立生命の星・地球博物館 苅部 治紀氏
 参加者：87名（ZOOM参加者78名、会場参加者9名）

プラスチックが生き物を苦しめている

矢作川流域圏懇談会 公開講座

no more Plastic

あなたはマイクロプラスチック問題の原因を作っていませんか？

マイクロプラスチック問題は、いまや、地球温暖化、気候変動に匹敵する緊急に対応すべき環境問題として挙げられています。マイクロプラスチックは、不適投棄されたプラスチック製品はもたらぬ。水田に撒かれる化学肥料を含むカプセルや、工業用研磨剤、化粧品に含まれているスクラブ材、合成繊維などから発生し、それらが河川や海に流れ、海洋生態系に大きな影響を与えていることが分かってきています。本講座では、四日市大学環境情報学部教授の千葉氏を講師に招き、マイクロプラスチックの伊勢湾での広がりの実態や新しい知見についてお話しします。

講師 千葉 賢氏
四日市大学環境情報学部 教授

令和3年 7月31日（土）15:00～17:00

開催方法 ZOOMによるオンライン開催 定員500名

参加無料

申込方法 ①氏名 ②メールアドレス ③お住まいの市区町村を必ず明記のうえお申込み下さい。

お申込みいただいた方に講座で使用する Zoom の URL をお知らせします。
 申込期限：7月21日（水）17:00まで

主催 矢作川流域圏懇談会 | 協賛 国土交通省 農林水産省 環境省 伊勢湾振興局 伊勢湾振興局 0532-46-8107

プラスチックが生き物を苦しめている

四日市大学環境情報学部 千葉 賢

2021年7月31日 矢作川流域圏懇談会 公開講座

講師 千葉 賢氏

参加者 98名

アカトンボが危ない!

いま、水の中で何が起きているのか？

「ネオニコチノイド系農薬」を使い続けることによる生態系への影響

水田にまきやすアネカネなどのトンボ類の減少にネオニコチノイド系農薬の使用が関係しているということが、最近の研究により明らかになってきています。ネオニコチノイド系農薬は水田のトンボ類だけでなく、各種生物に及ぶことも明らかになりつつあります。また、山溪の魚、通水、地下水などでもネオニコチノイド系農薬が検出されており、水田から近郊に広がる水系全体への汚染の拡大が懸念されています。世界的な動きとして、EUでは、一部の作物に対して、3種類のネオニコチノイド系農薬の使用が制限されていますが、日本では未だに大量に使用されているのが現状です。

本講座では、神奈川県立生命の星・地球博物館の苅部氏を講師に招き、ネオニコチノイド系農薬のトンボ類をはじめとした生物への影響の実態などについてお話しいただきます。

講師 苅部 治紀氏
神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員

令和3年 11月27日（土）15:00～17:00

開催方法 ZOOM ウェビナーによるオンライン開催 定員500名

参加無料

申込方法 ①氏名 ②メールアドレス ③お住まいの市区町村を必ず明記のうえお申込み下さい。

お申込みいただいた方に講座で使用する ZOOM の URL をお知らせします。

主催 矢作川流域圏懇談会 | 協賛 国土交通省 農林水産省 環境省 伊勢湾振興局 伊勢湾振興局 0532-46-8107

アカトンボが危ない!

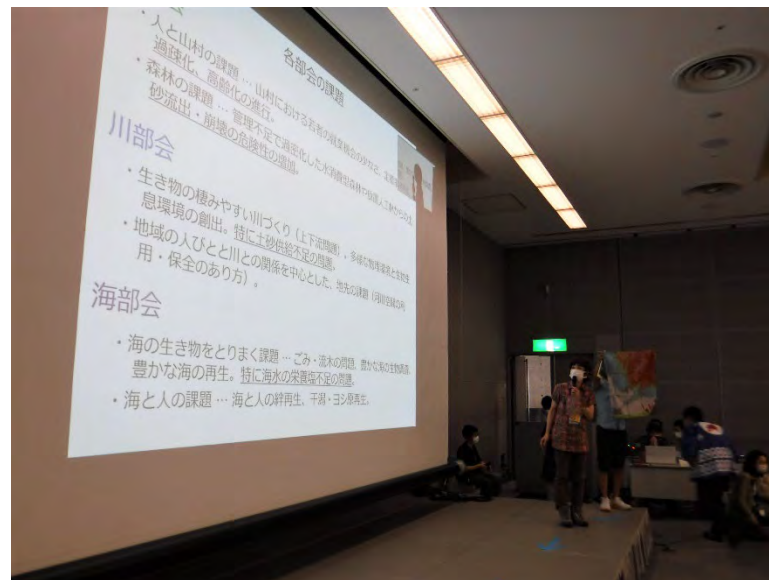
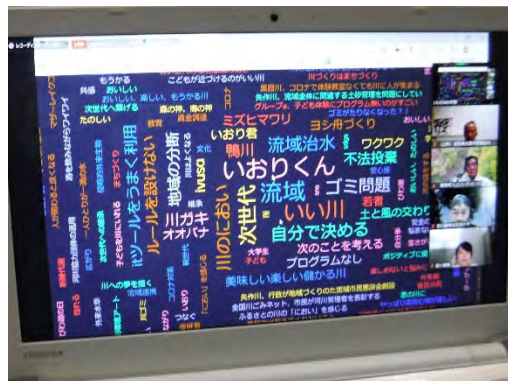
講師 苅部 治紀氏

参加者 87名

4. (3) 流域連携イベントに関する成果 | 令和3年度の活動成果

① 第13回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ

- 「矢作川流域圏懇談会 これまでの10年+これからの10年」と題し、矢作川流域圏懇談会の概要説明とこれまでの活動内容、各地域部会の課題や次の10年間の課題などについて、発表した。



② 第8回三河湾大感謝祭

- 根羽村森林組合による木製の弓矢のおもちゃを出展し、矢作川に関するクイズを出題した。また、約60名のクイズ参加者には「魚のペーパークラフト」をプレゼントした。



4. (3) 市民部会の次年度の活動目標 (案)

次年度の活動目標 (案)

- 流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。
- 地域部会（山・川・海）合同でのバスツアーを企画・開催する。
- 農業従事者や大学関係者など、新たなつながりを広げる。

今後の市民部会の課題・役割

- 矢作川の望ましい姿のイメージの可視化・具体的行動
- 市民部会としての流域連携テーマの議論
- 地域部会の話題・課題を把握できるシステムの構築
- 10年間で新たに見えてきた課題や問題の明確化
- 懇談会とつながりの薄い農業や工業の団体との関係構築

市民部会で挙げられたテーマ

- ・「47災害から50年」
- ・「三河湾の水産資源」
- ・「上下水の市民科学」
- ・「栄養循環・物質循環」
- ・「農業と環境」
- ・「マイクロプラスチック第2弾」
- ・「ネオニコ第2弾」など

山・川・海の恵みにつながる矢作川をつくる

～今新たに！「流域はひとつ」生命共同体～

矢作川の恵み・大切さを再認識し、より良い矢作川流域圏の再構築を目指し、平成30年度のWGで作成しました。